

# はれの日の装い

—装身具の歴史—



右から下に  
鹿骨製垂飾(縄文時代) 垂飾(縄文時代) 女性の埴輪(古墳時代) 単鳳環頭把頭(古墳時代) 柄鏡(江戸時代) 耳飾り(縄文時代) 勾玉(古墳時代) 貝輪(縄文時代)

2018年(平成30) 1月5日(金)~3月5日(月)

【開館時間】 9:30~16:30(入館は16:00まで)  
【休館日】 火曜日(2月27日は開館)  
【入館料】 大人400円 団体300円(20名以上)  
小・中学生200円

小・中学生の  
学校単位の団体は無料  
・事前申込が必要

※障がい者とその介護者各1名は無料となります。  
受付カウンターに障がい者手帳等をご提示ください。



2018年 新春展

# はれの日の装い —装身具の歴史—

日本のお正月は、新年の気持ち新たに、晴れ着を着たりして迎える「はれの日」です。

新春展では「はれの日の装い」と題して、館蔵の日本考古美術品の中から装身具を中心に約200点を展示します。

綺麗に見せるため、立派に見せるため、威厳があるように見せるためなど、

身を飾る目的は今も昔も変わらずいろいろあり、飾る場所も頭から脚までいろいろです。

本展では縄文時代、弥生時代、古墳時代の日本の装身具の歴史をふりかえります。

また、奈良時代以降の化粧に使う道具としての鏡なども添えて展示します。

古代の人々がどんな風に身を飾っていたのか、想像を巡らせていただければと思います。



## 主な展示品

[縄文時代] 髪飾り・耳飾り・大珠・首飾り・貝輪・腰飾り・土偶

[弥生時代] 絵画土器

[古墳時代] 櫛・耳飾り・首飾り・腕輪形石製品・帯金具・装飾大刀・人物埴輪

[奈良時代以降] 鏡

## 関連イベント

入館券が必要です

### トーク・サンコーカン(公開講演会)「化粧の歴史」

日時: 2月24日(土) 13:30~15:00 ※引き続き展示解説を行います。

会場: 研修室

講師: 藤原 郁代(当館学芸員)

定員: 100名(当日先着順)

### ギャラリートーク(展示解説)

日時: 1月7日(日)・25日(木)・2月26日(月) 13:30~

会場: 企画展示室

### ワークショップ「古代の首飾りを作ろう」

日時: 1月5日(金)・6日(土)・2月4日(日)・3月4日(日) 13:30~15:30

会場: 3階ロビー

参加費: 200円(当日徴収・事前申込み不要)

右上から下に 耳環(古墳時代) 三角縁神獸鏡(古墳時代) 土面(縄文時代) 男性の埴輪(古墳時代)

世界の生活文化と考古美術の博物館  
天理大学 附属

天理参考館

TENRI UNIVERSITY SANKOKAN MUSEUM

〒632-8540 奈良県天理市守目堂町250

TEL 0743-63-8414 FAX 0743-63-7721

URL <http://www.sankokan.jp/>



## アクセス

JR・近鉄天理駅下車 徒歩約20分  
西名阪天理インターより南へ約3Km  
(駐車場あり・無料)

※期間により駐車場への入場・駐車が規制される場合があります

天理大学附属 天理参考館 ウェブサイト

天理参考館

検索



●次回予告

第81回企画展 「大自然への敬意 —北米先住民の伝統文化—」

[会期] 2018(平成30)年

4月4日(水)~6月4日(月)